

道志村サテライトオフィス誘致構想（案）

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



道志村

平成30年〇月

1	サテライトオフィス誘致構想策定の経緯	P.3
2	サテライトオフィスを取り巻く状況	P.20
3	道志村サテライトオフィス誘致構想	P.32
4	今後の進め方	P.58



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

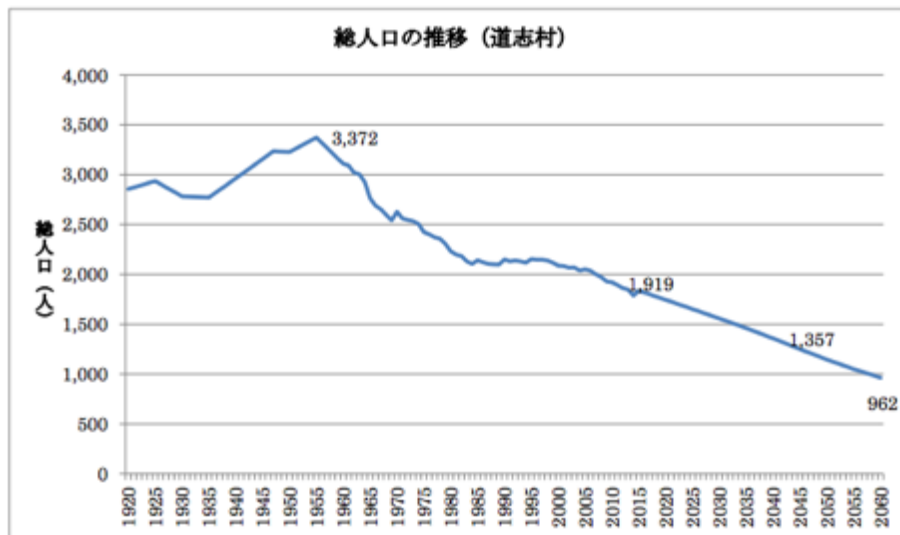


道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

道志村人口推移

道志村人口ビジョン（素案）より抜粋



年	1955年	2010年	2040年	2060年
人口	3,372人	1,919人	1,357人	962人

図表1-1 総人口の推移（資料：国勢調査、社人研推計）

※社人研……国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と表記）

（分析及び結果の整理）

・ 道志村では、1936年から戦後の1955年にかけて人口が増加したが、1956年以降急速な人口減少が1984年まで続き、1985年以降人口は微増・微減を繰り返し、2000年以降緩やかに減少しています。

・ 急激な人口減少期の原因は、高度経済成長期（1957年から1973年）に村外に職を求めて若年層を中心に他の地域へ人口が流出するとともに、出生数の減少が続いたためと考えられます。また、それ以降については、流出が目立っていた年齢層自体の人口減少によりやや緩やかになったとは言え、減少が続いていると考えられます。

・ 現状のままで推移した場合、2040年の人口は1,357人、2060年の人口は962人になると推計され、2010年と比較して約5割減少すると見込まれます。



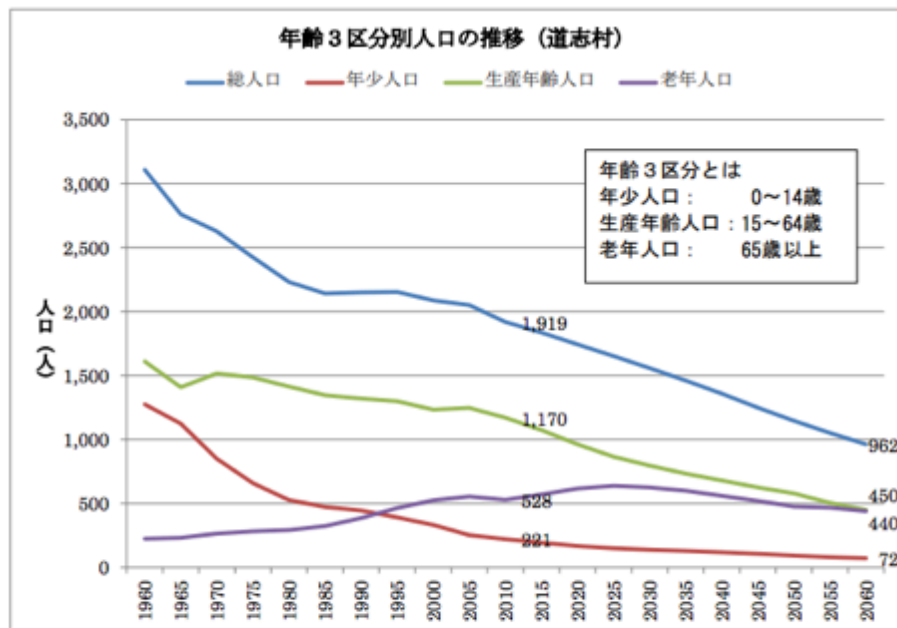
道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

道志村年齢3区分別人口の推移

道志村人口ビジョン（素案）より抜粋



(分析及び結果の整理)

- ・ 道志村では、1960年以降、生産年齢人口は微減を続け、今後も減少が続くと見込まれています。
- ・ 年少人口は、1990年頃まで急激に減少し、1995年に老年人口を下回ってます。ただし、近年は減少傾向が緩和し、今後も同傾向が続くと見込まれています。
- ・ 一方、老年人口は、生産年齢人口が順次老年期に入り、また、平均余命が延びたことから、一貫して増加を続けています。しかし、2025年をピークに、減少に転じると見込まれています。

比較年	2010年	2020年	2040年	2060年
総人口	1,919人	1,744人	1,357人	962人
年少人口	221人	167人	118人	72人
生産年齢人口	1,170人	961人	679人	450人
老年人口	528人	616人	559人	440人

図表1-2 年齢3区分別人口の推移 (資料: 国勢調査、社人研推計)



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

生産年齢人口減少による様々な影響

- 地域産業従事者の減少 → 地域産業の衰退 → 地域行政の運営悪化
- 税収減少 → 行政負担の増加 → 地域行政の運営悪化
- 文化交流の減少 → 文化の断絶
- 若年層家族の減少 → 老年層家族の増加 → 介護負担の増加
- 消費行動の衰退 → 三次産業の衰退 → 地域の利便性の減少
- 跡継ぎの減少 → 世帯の減少 → 空き家の増加
- 人口減少 → 環境整備の減少 → 自然環境の悪化



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

道志村まち・ひと・しごと創生総合戦略

道志村まち・ひと・しごと総合戦略体系図（平成27年度（2015年）～平成31年度（2019年））

<人口ビジョン> 人口目標・・・平成72年(2060年):1,562人
 出生率・・・平成32年(2020年):1.58、平成42年(2030年):1.96、平成52年(2040年)～:2.36
 転入者・・・8人/年

【一度住んでみませんか】

主な事業に
 「サテライトオフィス誘致」
 が追加されました。

基本目標

1. 道志村への新しいひとの流れをつくる



2. 村民が魅力的に感じる新しいライフスタイルをつくる



施策の方向

近隣都市と連携した交流を促進するとともに、移住・定着促進に向けた環境を整備していくことで、移住者の増加を目指していく

結婚・出産・子育てを含め、道志村で暮らすという「ライフスタイル」を見つめ直し、さらに新しい要素を加えていくことで、村民の満足度を向上させるとともに、移住者等が移住してよかったと思うような村・移住したくなるような村を目指していく

施策

主な事業

(1) 移住者の増加

移住コンシェルジュの設置
 村営住宅等の検討
 空き家調査・空き家改修補助事業
 村外通勤スタイルの検証・提案

(2) 本村の特性・地域資源を活用した就業環境改善

企業と連携した新しい雇用環境創出
 地域おこし協力隊等支援
 新規就業者支援

(3) 近隣都市との連携による交流促進

遊び場の検討
 村全体をフィールドとした観光振興
 体験農園運営

(7) 取り組みの情報発信

アンテナショップ開設運営
 ホームページのリニューアル
 オンライン情報発信方法検討
 村出身大学生・高校生へのLターン呼び掛け

(4) 村独自の教育プログラムの提供

子ども伝統芸能活動促進
 保小中連携教育の推進
 ICT教育の推進
 郷土愛教育の推進

(5) 結婚・出産・子育てへの支援

結婚支援サービス利用促進
 結婚相談員活動支援
 高校・大学進学奨学金制度の検討

(6) 地域住民連携による安心できる生活の支援

告知端末設置費無料化
 美しい物理環境の整備検討
 公共交通の在り方検討
 エコライフ促進助成

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

東京在住の移住希望者

2017年にトラストバンクが行なった「地方移住に関する意識調査」より抜粋

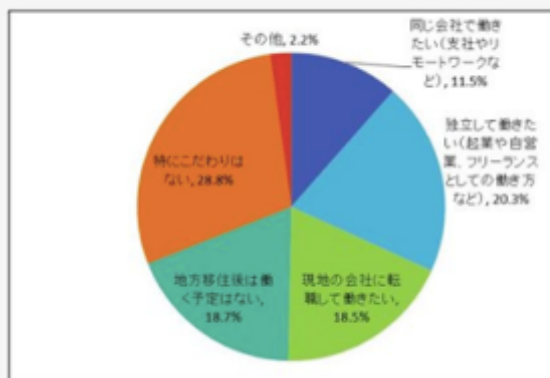
◆あなたは地方移住に関心がありますか？ (n=1115)



年齢	n	既に地方移住することを決めている	現在検討している	関心はあるが具体的に検討していない	特に関心はない
20歳～29歳	227	10.1%	16.3%	27.3%	46.3%
30歳～39歳	222	5.9%	12.2%	33.3%	48.6%
40歳～49歳	222	0.9%	5.4%	39.2%	54.5%
50歳～59歳	222	2.3%	5.0%	40.5%	52.3%
60歳以上	222	0.9%	9.0%	34.2%	55.9%

「地方移住」への関心、2人に1人が「関心あり」。20代の10人に1人が既に地方移住をすることを決めており、関心ある20代の約2割（17.2%）が「1年以内に移住をしたい」と回答。

◆地方移住後あなたが希望する働き方について教えてください。 (n=541)



年齢	n	同じ会社で働きたい(支社やリモートワークなど)	独立して働きたい(起業や自営業、フリーランスとしての働き方など)	現地の会社に転職して働きたい	地方移住後は働く予定はない	特にこだわりはない	その他
20歳～29歳	122	23.0%	20.2%	18.0%	3.7%	22.1%	0.8%
30歳～39歳	114	19.3%	19.2%	21.9%	11.4%	27.2%	0.9%
40歳～49歳	191	8.9%	20.8%	28.7%	8.9%	33.7%	0.0%
50歳～59歳	196	4.7%	17.0%	16.0%	26.4%	34.0%	1.9%
60歳以上	38	0.0%	12.2%	7.1%	43.9%	28.9%	8.2%

20代の10人に1人が、「既に地方移住することを決めている」と回答。他の年代（30代：5.9%、40代：0.9%、50代：2.3%、60代以上：0.9%）と比べて、20代は地方移住を決めている傾向が強いことがわかりました。



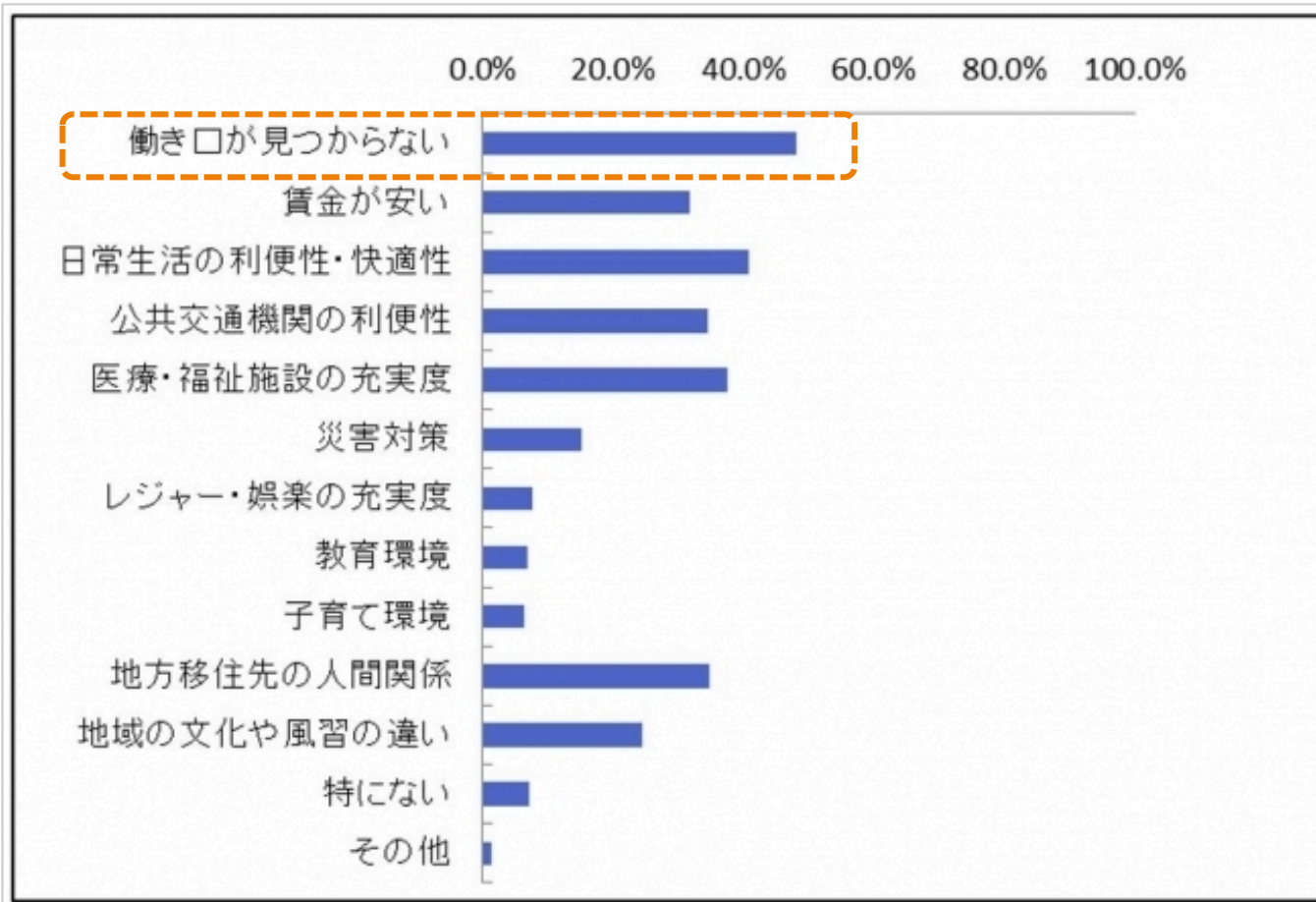
道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

地方移住希望者の不安・懸念点

2017年にトラストバンクが行なった「地方移住に関する意識調査」より抜粋



「地方移住をするうえでの不安や懸念点については、2人に1人が「働き口が見つからない」（48.2%）と回答し、多くの人にとって、仕事が地方移住への課題であることがわかりました。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

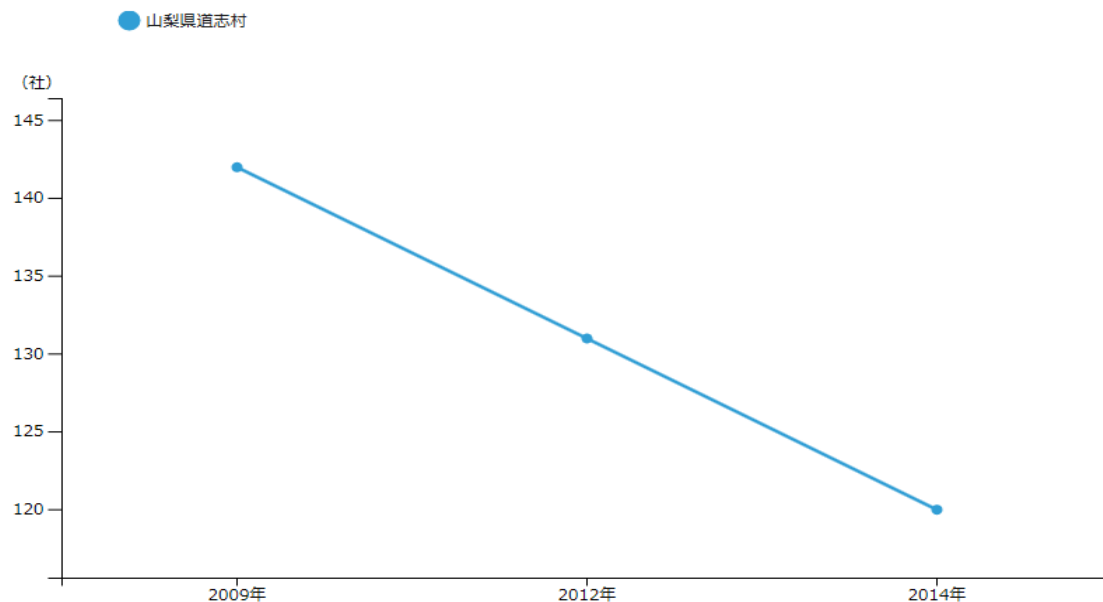
1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

企業数

出典元 地域経済分析システムREASAS

企業数

産業：すべての大分類 > すべての中分類



企業数は年々減少傾向にあり、移住者含め村の若者の雇用創出も難しくなることが予想されます。

【出典】

総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

会社数と個人事業所を合算。

【その他の留意点】+



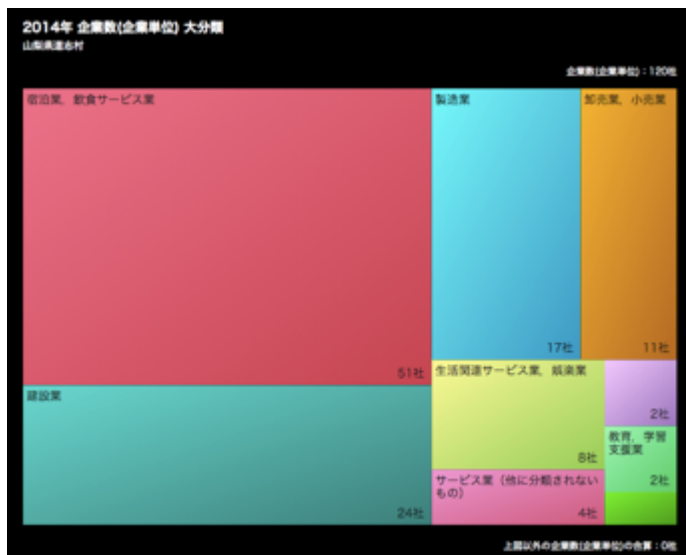
道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

既存産業分析

出典元 地域経済分析システムREASAS



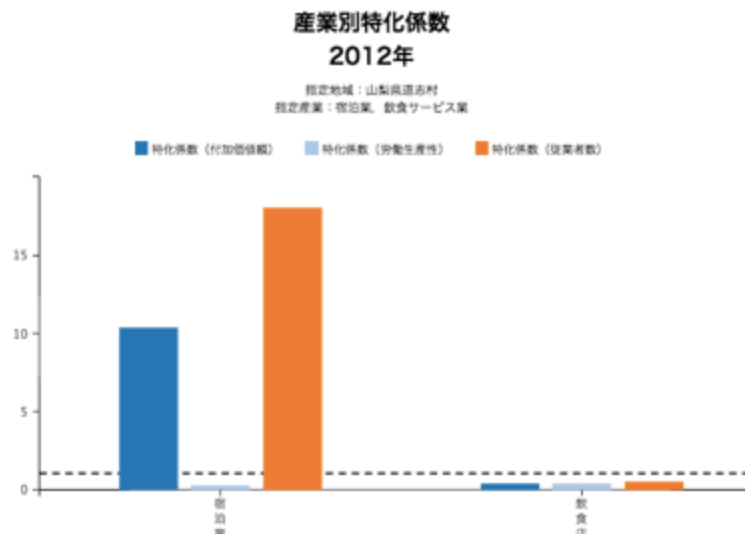
【出典】

総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

会社数と個人事業所を合算。

【その他の留意点】+



【出典】

総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

労働生産性 = 付加価値額 (企業単位) ÷ 従業者数 (企業単位)

- 主な産業は「宿泊・飲食サービス」であり、全国的に見て付加価値額および従業員数も多いが、労働生産性が低いことが課題です。
- 今後ITを活用した教育を推進する中、IT関連企業が少ないことがわかります。
- 都会からの移住者はIT関連企業に就職している方が多い中、受け入れる企業がありません。
- 教育への関心が高まる中、教育関連企業が少ないことが読み取れます。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

誘致目的

本業務は、単なる企業誘致ではなく「首都圏の企業のリスク分散」、「新しい働き方・ライフスタイルの創造」などを旨とし、**道志村にIT関係の企業や部署を誘致し、村の若者の雇用はもちろん、Uターン・Iターンの拡大を視野に入れ、「地域経済の活性化」に繋がります。**

村内の生産年齢人口増加のために、「雇用環境の創出」が必要であり、本事業を通して、村内外の生産年齢人口にとって魅力的な雇用環境を創出することを目的としています。
そのためには、雇用力を持った生産年齢人口にとって魅力的な企業の誘致もしくは、地域内での起業促進の施策が必要です。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

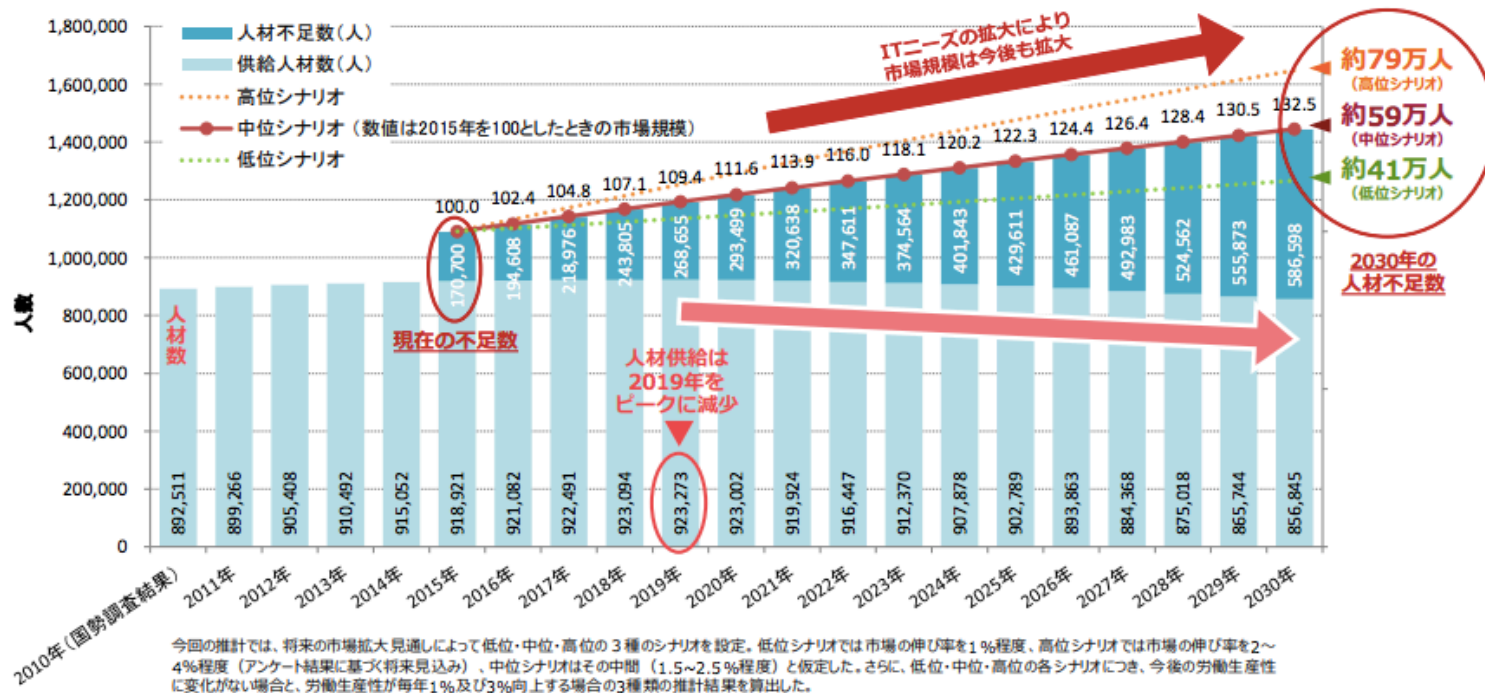
深刻なIT人材の不足

経済産業省 IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果 平成28年6月10日 より抜粋

2 今後のIT人材の不足規模

IT人材の不足規模に関する予測

- 2015年の人材不足規模：約17万人
- 2030年の人材不足規模：約59万人 (中位シナリオ)
- ⇒ IT人材不足は、今後ますます深刻化



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

1. サテライトオフィス誘致構想策定の経緯

道志中学生のなりたい職業

2018年2月中学校生徒総数42名へアンケート実施

2018年2月に中学校生徒総数42名へ以下の質問を記載したアンケートを実施しました。
質問「将来なりたい職業」

■ 中学生が将来なりたい職業は「エンジニア」がトップ

中学生はインターネットやゲームやアプリを通してITに興味を持っていることが想定されます。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

地方進出を検討する企業のニーズ



生産性の向上

- 業務効率化
- 発想力強化
- 権限委譲

執務環境

新規商材開発

- 競合排他
- 類似地方展開
- 新事業企画

地域課題解決



新たな働き方・新規ビジネス創出拠点

優秀な人材確保

- 働き方改革
- 心のケア
- 地域交流

雇用環境

企業ブランディング

- メディア露出
- 公的機関との取引
- CSR・CSV

社会的責任



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



道志村進出メリット①

- 2020年東京五輪に「道志みち」が自転車ロードレースのコースとして選定が予想される



・2020年東京五輪にて「道志みち」が自転車ロードレースのコースに選定されることが予想されます。日本はもちろん世界中のロードレーサー（プロ・アマ両方）が五輪コースに選定されたコースを走りたいと憧れ、実際のコースを走るために村内を通過するロードレーサー（プロ・アマ両方）の数が多くなることが予想されます。通過するロードレーサーが多くなれば、彼らに商品やサービスを提供したい企業が多く道志村にも可能性を感じることは容易に予想されます。自転車競技用関連商品販売の誘致も期待することができます。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

道志村進出メリット②

■ 道志小学校・中学校

昨今、都会の子育て世代のニーズとして、子ども一人ひとりに合わせたきめ細やかな教育を行ってほしいという意見が出ています。道志村は教師一人あたりが受け持つ児童生徒の人数が15名程度と全国平均を下回っている小規模校のため、より子どもと接する機会が多く、都会の子育て世代にとっては魅力的な教育環境です。

また、高速ブロードバンドの利用も視野に入れた、「放課後学習塾」の設置も検討しており、今後さらに教育内容が充実していくことが予想され、サテライトオフィスの社員への移住する際の好条件となっていくことが予想されます。

また、遠隔塾システムの仕組みなどを提供する企業も進出候補先として、検討されることが予想されます。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

道志村進出メリット③

■ 東京から2時間で来られる自然豊かで地域課題が豊富な地域

東京から車で2時間で来ることができる好立地条件で、地域課題も豊富であり、地方で新たにビジネスを始めたい企業にとって好条件が揃う場所です。

また、企業は、働き方改革の施策で社員のリフレッシュや短期集中型開発合宿などを実施できます。

■ 日本有数のキャンプ地

夏のシーズンを迎えると、昨今のアウトドアブームも手伝ってキャンプ場利用客が増えます。

また、夏のシーズンに多くの集客が見込まれるという状況から、キャンプ利用者への新規商材のモニター実施やテスト販売などを実施でき、企業のマーケティング活動を容易に行うことができます。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

まとめ

- 今後は生産年齢人口が予測されるので、若者の誘致が必要
- 今後村の担い手となっていく道志中学生や都会の若者が望む仕事が少ない
- IT関連企業は人材不足が深刻化している
- 首都圏の企業は地方進出のニーズが高まってきている
- 教育事業をさらに発展することにより、優秀な人材を育成し、サテライトオフィス開設した企業への就職につながる
- 2020年のオリンピックの自転車競技の会場に選定された際の機会を活かす必要がある
- 進出企業は、道志村の自然環境を活用し、IT人材の離職防止などを促すことができる

若者に魅力的な業種・業態の企業に、道志村の進出メリットを伝えることで、サテライトオフィス開設につなげる。その後、雇用創出を促したり、地域課題を解決する中で、村内の生産年齢人口の増加を目指します。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

2. サテライトオフィスを取り巻く状況



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィスの定義

サテライトオフィスとは3つの条件を満たす地方拠点

- ① 社内業務の一部を担っている（旧来の支店）
- ② 社員のワークライフバランスを実現するための施設として位置付けている
- ③ 地域に入り込むための場と位置付けている（地域課題の解決）

以降「サテライトオフィス」は「SO」と記載します。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

2. サテライトオフィスを取り巻く状況

サテライトオフィス誘致メリット

地域
住民

- ✓ 税金・雇用の増加
- ✓ 潜在的な地域課題発掘
- ✓ 外部リソース活用風土醸成
- ✓ 先進地としての評価
- ✓ 国や県からの後押し
- ✓ 学校教育の充実

etc

- ✓ 地元雇用の場増加
- ✓ 主要産業の強化
- ✓ 教育強化
- ✓ 地域消費拡大
- ✓ お祭りなどの担い手増
- ✓ 起業意欲の増加
- ✓ Uターンの増加

etc

行政

企業
社員

- ✓ 優秀な人材確保
- ✓ 新規ビジネス創出
- ✓ 新規顧客創出
- ✓ メディア露出
- ✓ 社会的に意義の増大

etc

道志村サテライトオフィス誘致構想

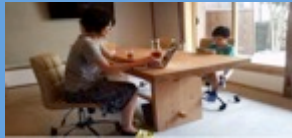
道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



2. サテライトオフィスを取り巻く状況

他市町村におけるサテライトオフィス誘致から生まれた様々な効果例

教育
デュアルスクール



教育
SO企業の特別授業



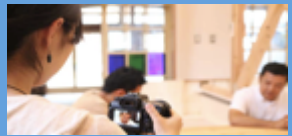
観光
IT導入支援



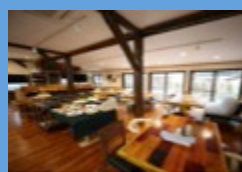
スポーツ推進
センサー安否確認



広報・PR
SO企業の情報発信



六次産業化
新規飲食店開業



起業促進
三次産業新規開業



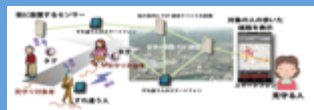
移住促進
若者移住



防災
SO企業の消防団加入



防災
安否確認システム



文化維持・継承
SO社員の祭参加



空き家利活用
古民家改修



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

2. サテライトオフィスを取り巻く状況

誘致成功事例_雇用創出

地方の悩み

若者が働きたいIT関連企業が地域にいない

×

進出企業の悩み

東京にて約10年間、採用活動を行なったが成果出ず



徳島の過疎地にオフィス開設

×



働き方・暮らし方にこだわる人材

地方への効果

若者が働きたくなる雇用環境創出・若者移住・祭りや出事の担い手増加

進出企業の効果

地元メディアなどが取り上げ、社員数が3倍になり、業績向上

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



2. サテライトオフィスを取り巻く状況

誘致成功事例_教育関連

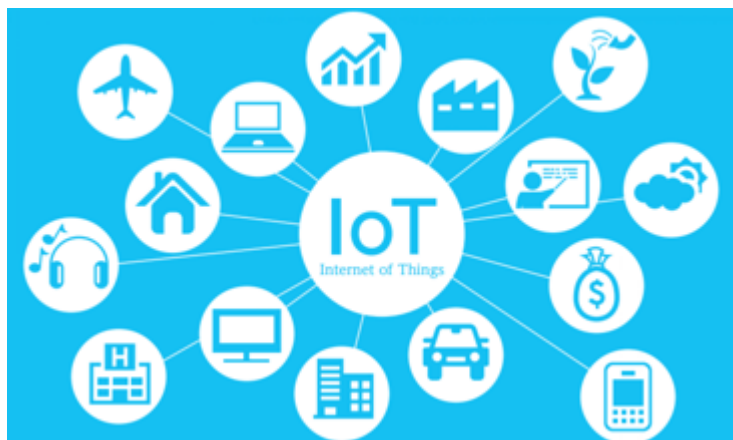
地方の悩み

地域の子供たちが最新のIoTを体験したり学んだりできる環境がない

×

進出企業の悩み

自社のIoT技術を活かした教育事業を新たに実施したい



×



地方への効果

子供達が授業の中でIoTを学べる講座を開講

進出企業の効果

新規教育事業の開発

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



2. サテライトオフィスを取り巻く状況

誘致成功事例_教育関連

地方の悩み

都会などの最新の教育を受けられない

×

進出企業の悩み

遠隔教育システムの導入先を探している



The image shows a promotional graphic for VQS Learning. On the left, there is a screenshot of the website with the following text:
VQS Learning
COLLABO 遠隔授業システム
VQSコラボLearningは、高音質Web会議システムをベースにした遠隔授業システムです。
直接顔を合わせて授業をしているのと同じ様なリアルな音質と、手書き入力デバイスによる書き込みが運動するホワイトボードが特長です。
At the bottom of the screenshot are two buttons: '> サービス詳細' and '> 導入事例'. On the right, a young girl in a school uniform is smiling and raising her hand while wearing a headset, with another student visible behind her.

地方への効果

地域の子供たち向けにITを活用した遠隔塾の創設

進出企業の効果

自社サービスの導入先の開拓

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

2. サテライトオフィスを取り巻く状況

誘致成功事例_デュアルスクール

DUAL SCHOOL

デュアルスクール

内容

デュアルスクールとは、地方と都市の両方のよさを教育活動に取り入れることができるよう、地方と都市の二つの学校が一つの学校のように教育活動を展開することができる「新しい学校のかたち」のことです。

地方と都市、双方の教育委員会との合意があれば、転校手続を簡略化して、2校間の移動が容易になります。地方と都市それぞれのよさを体験することで、双方の視点を持った、多面的な考え方のできる人に育てることを目的としています。

効果

- ・ 地方と都市、二つの学校の児童・生徒が同じ教室で共に学び、交流することによる、学校の活性化及び双方の視点(デュアルな視点)を持った児童・生徒の育成
- ・ 複雑な転校事務を簡素化することで二校間移動が容易になり、地方と都市の交流人口が拡大
- ・ 学習進度の違いなど、学校生活の不安を解消することによる、地方と都市の二地域居住の可能性の拡大、さらには地方移住の促進



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



2. サテライトオフィスを取り巻く状況

誘致成功事例_防災

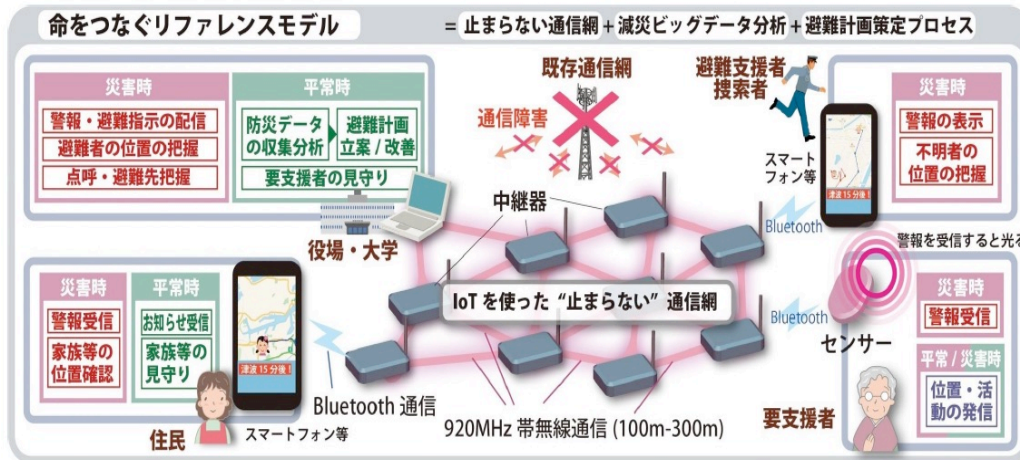
地方の悩み

津波や高齢者の見守り支援などの課題がある



進出企業の悩み

自社がもつネットワーク・センサー技術を活用した商材を開発したい



地方への効果

防災システムおよび高齢者見守りシステムの地域への導入

進出企業の効果

新規サービス開発

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

2. サテライトオフィスを取り巻く状況

タイプ別サテライトオフィス

滞在型サテライトオフィス

スタッフが常駐し古民家や空き家などをリノベーションしたオフィスを活用しながら実施するワークスタイルを「滞在型サテライトオフィス」と呼びます。開設企業は都市部には無い地方特有の文化や環境を満喫しつつ、地域ビジネスへの参入、経営人材の育成、BCP対策などが可能。

循環型サテライトオフィス

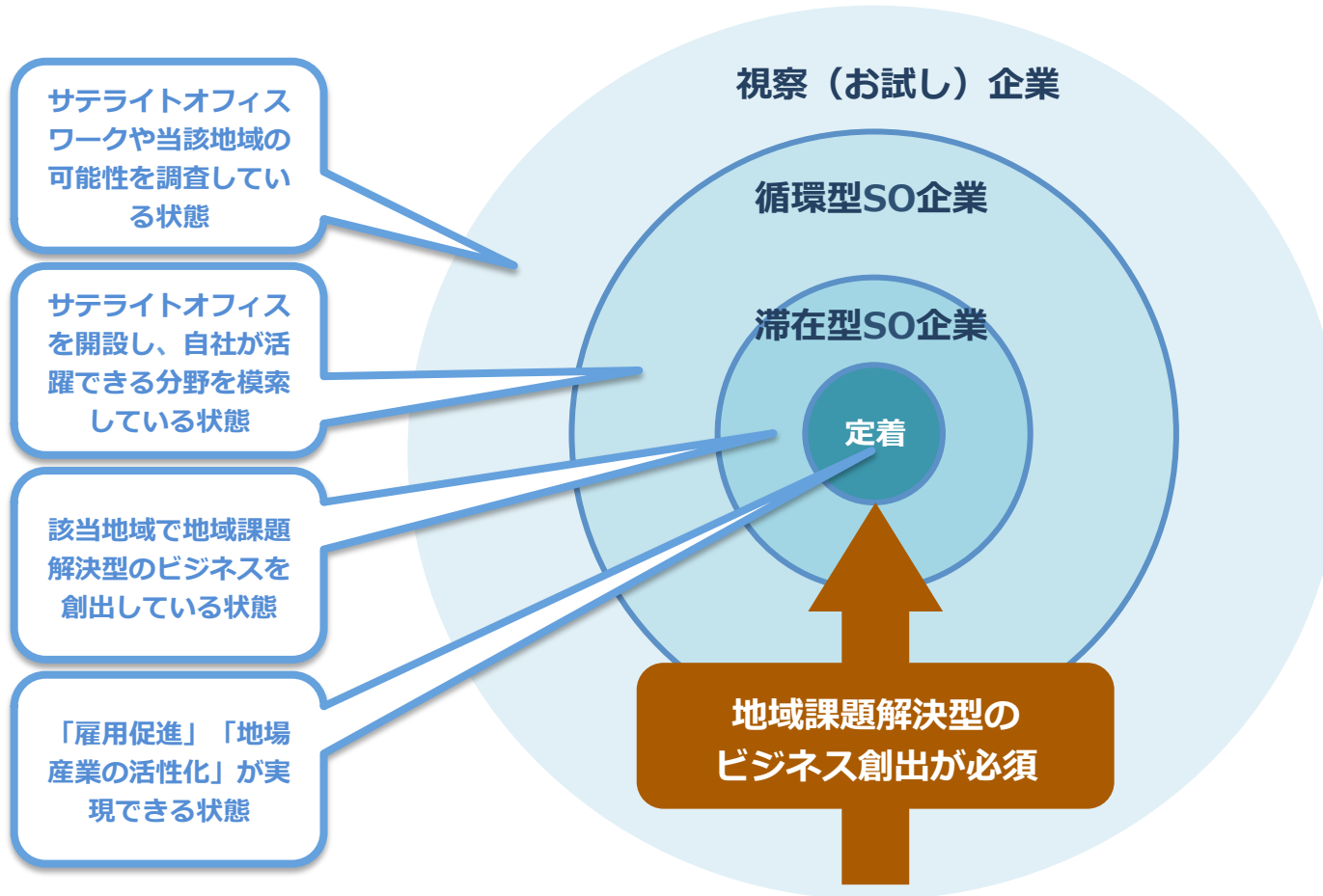
地方にオフィスを所有せずシェアオフィスやコワーキングオフィスを利用しながら、都市部と地方を行き来して実施するワークスタイルを「循環型サテライトオフィス」と呼びます。開設企業は社員研修、短期集中プロジェクトの業務、CSR推進が可能。



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィス進出のステップ



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



3.道志村サテライトオフィス誘致構想

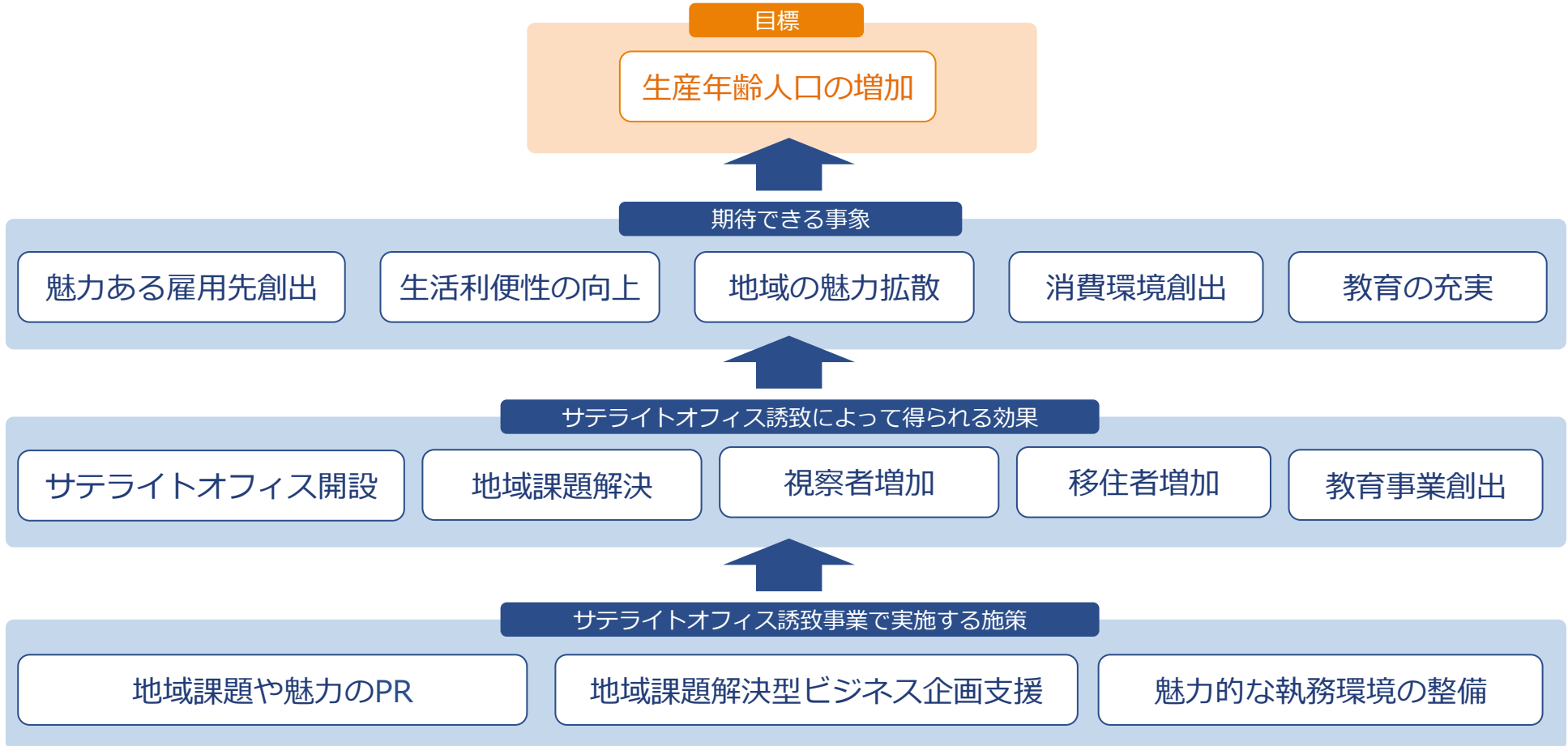


道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

サテライトオフィス誘致のコンセプト



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

誘致構想策定の流れ

誘致ビジョン策定

サテライトオフィスに成功した10年後の道志村のあるべき姿を策定し、

地域問題洗い出し

誘致ビジョンを実現することで、解決できる地域問題を洗い出し、

誘致戦略策定

誘致ビジョンを実現するために誘致すべきターゲット企業を設定し、

誘致体制構築

誘致ビジョンを実現するために必要な誘致体制を構築する



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3.サテライトオフィス誘致構想

誘致ビジョン

定義

誘致ビジョンとは、サテライトオフィスに成功した10年後の村の姿です。

ビジョンとは

ビジョンには主に2つの意味があります。

1つ目が「将来の構想や展望」という意味です。構想は「これから行おうとしていることの実現方法などを考え、骨組みをまとめること」、展望は「物事の見通し」という意味の言葉です。わかりやすく言えば「これからどうするのか」や「将来どうなっているのか」という意味です。

2つ目が「見えるもの・景色」という意味です。文字だけでは表現できないとも言い換えられます。

必要性

誘致ビジョンがないと以下の問題が発生します。

- ・ 誘致する企業が明確にならない
- ・ 誘致メンバーに意見の相違が出て組織が稼働しなくなる
- ・ 誘致をする背景や理由が住民に伝わらない



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

【道志村サテライトオフィス誘致構想】 サテライトオフィス誘致に成功した10年後の道志村



- 農業・林業を効率化するためのIoTが整備され、地域資産を活かした様々な事業が生まれる村
- 観光事業を外部の知恵やノウハウを活用し、効率化し担い手不足を解消した村
- IoT・アート関連など多種多様な産業の誘致に成功し、若者たちが働きたくなる仕事で溢れる村
- 自然体験・IoT授業・遠隔教育など場所にしばられず、高水準の教育を受けられる村
- 高齢者もIoTを使いこなし、健康にイキイキと楽しく働く村
- 2020年を機に自転車競技のメッカとなり、観光客の増加や子供たちの健康促進を実現している村
- 自動運転などを活用し、村内の交通手段を増やし、住民サービスの向上を実現した村
- 景観保全や再エネルギー事業など単一事業ではなく様々な事業が絡み合っって相互作用する村

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3.サテライトオフィス誘致構想

地域問題の洗い出し

定義

地域の好ましくない現状のことを地域問題とといいます。

必要性

サテライトオフィス誘致をする際に、「自然・食・人」や「補助金・助成金」を売り文句としてしまう自治体が多いです。本来企業は、売上増加・コスト削減のどれかに効果的だと考え、サテライトオフィスを開設します。そこで、企業が欲しい情報は、該当地域の「地域問題」です。この「地域問題」を解決する新たな企画がビジネスになり、そのビジネスを拡大することで売上向上につながります。

企業にとっての当該地域の魅力は「地域問題」であり、これを洗い出すことが重要です。

洗い出した日

2018年2月16日

洗い出したメンバー

- ・ 道志村役場各部署担当者の方々



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

誘致戦略

定義

誘致戦略とは、誘致における方針を決めることです。具体的には、「何の地域課題」を「どの企業」に解決してもらい、企業にはどのような「メリット」があるのかを決めていきます。この方針をもとに各業務や必要な誘致体制を明確にします。

洗い出した日

2018年2月16日

洗い出したメンバー

- ・ 道志村役場各部署担当者の方々



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

観光事業の効率化

解決したい地域問題

- ・ 道志村を目的にした観光客が少ない
- ・ キャンプ場、民宿の運営が非効率
- ・ 観光客がお金を落とす仕掛けが少ない
- ・ 冬場の集客が少ない



誘致したい企業

- ・ バイカーをターゲットとした観光事業を実施できる企業
- ・ 自転車競技を活用したイベントの企画・運営ができる企業
- ・ 既存宿泊施設の予約管理システムを提供できる企業
- ・ キャンプ場利用者に最新のアウトドア用品を販売する企業
- ・ アウトドア関連のイベントを実施できる企業
- ・ 冬場の閑散期にアウトドアイベントなどで集客増加できる企業

進出メリット

- 今後観光客や通過する客が多くなることが予測される場所で新規ビジネスを始められる
- 自社システムの新規導入先になる可能性がある
- 夏に多くのキャンプ利用客から新商品などの生の声を聞くことができる
- 夏の集客が期待できる時期にイベントを企画できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

村独自の教育プログラム

解決したい地域問題

- ・ 先進的な授業を受けられない
- ・ ITなど今後必要となる知識を身につけられない
- ・ 高校がない



誘致したい企業

- ・ 遠隔授業の仕組みを提供できる企業
- ・ IT、IoTなど先進技術の体験学習を実施できる企業
- ・ 子供たちに自転車や自然の遊びを提供できる企業

進出メリット

- 遠隔教育システムの新規導入先になる可能性がある
- 自社技術を活用した新たな教育事業を開発できる
- 今後自転車競技のメッカとなると予想される場所にいち早く進出し関連事業を実施できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

住むと健康になる村

解決したい地域問題

- ・ 病院が遠い
- ・ 子供の肥満児が多い
- ・ 体を動かす機会が少ない



誘致したい企業

- ・ 遠隔診断ができる仕組みを提供できる企業
- ・ 未病対策プログラムを実施できる企業
- ・ 肥満対策プログラムを実施できる企業

進出メリット

- 遠隔診断システムの新規導入先になる可能性がある
- 未病対策プログラムやスポーツ体験イベントを開発し、道志村以外の市町村にも展開できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

農業の効率化

解決したい地域問題

- ・ 農家の高齢化が起きている
- ・ 農業の担い手がない
- ・ 耕作放棄地が多い



誘致したい企業

- ・ 農業向けのIT管理システムを提供できる企業
- ・ CSRの活動で有機野菜を栽培したい企業
- ・ 農地を守る活動を行っている団体

進出メリット

- 自社システムの新規導入先になる可能性がある
- 企業のCSR活動や社員の福利厚生の一環で農地利用ができる
- 東京から近い場所で自社の活動場所が見つかる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

里山の利活用

解決したい地域問題

- ・ 林業の担い手が少ない
- ・ エネルギー事業を行う専門家が不足している



誘致したい企業

- ・ 林業体験を都会の子供向けに実施できる企業
- ・ 林業を活かして再エネルギー事業を行える企業
- ・ 森林を守るための人材育成を行える団体

進出メリット

- 林業体験の活動場所が見つかる
- 新規教育事業が開発でき、他地域に展開できる
- 再エネルギー開発事業の優秀な人材が少ないが道志村に存在する
- 再エネルギー開発事業の実証実験を行うことができる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

里山の景観保全

解決したい地域問題

- ・ 里山が荒れている
- ・ 耕作放棄地がある
- ・ 山によって美しい景観が損なわれている



誘致したい企業

- ・ 山を活かした美しい景観を作れる企業
- ・ 耕作放棄地を活用したビジネスを展開できる企業

進出メリット

- 耕作放棄地を活用した新規事業を実施できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

空き家利活用

解決したい地域問題

- ・ 平地が少なく、新築が難しい
- ・ 空き家が多い



誘致したい企業

- ・ 山林を活かしたログハウスなどを作れる団体
- ・ 空き家リノベーションを専門としている建築家

進出メリット

- ログハウスなどを活用した新規宿泊業を実施できる
- 古民家改修の機会が多くなることで、受注数が増えることが期待できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

担い手不足解消

解決したい地域問題

- ・ 農業の担い手が少ない
- ・ 宿泊業関連の後継者がいない
- ・ 祭りや消防団の地域の担い手がいない



誘致したい企業

- ・ CSRの一環で社員に農業などを実践させたい企業
- ・ 社員に副業を可能にしている企業
- ・ 地方への移住を考えている社員、フリーランス

進出メリット

- 社員のワークライフバランスを実現している証となる
- 企業のCSR活動や社員の福利厚生の一環で農地利用ができる
- 自分たちの人生の幸福度を上げることができる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

交通環境改善

解決したい地域問題

- ・ 事故が多い
- ・ 交通弱者が移動に困っている
- ・ 公共交通手段が整備されていない



誘致したい企業

- ・ 事故防止の仕組みを提供できる企業
- ・ 自動運転の実証実験の場所を探している企業
- ・ 24時間体制の自動運転バスを提供できる企業

進出メリット

- 自動運転の実証実験ができる
- 実際に技術を必要とする人から直接ニーズを収集できる



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3. サテライトオフィス誘致構想

誘致体制

目的

サテライトオフィス誘致の成果を出すために、必要な誘致体制があります。この誘致体制を道志村では誰が担うのかを明確にしました。

調査後明確になるもの

- ・ 誘致実施地域と誘致物件
- ・ 受け入れ人員の配置

実施日

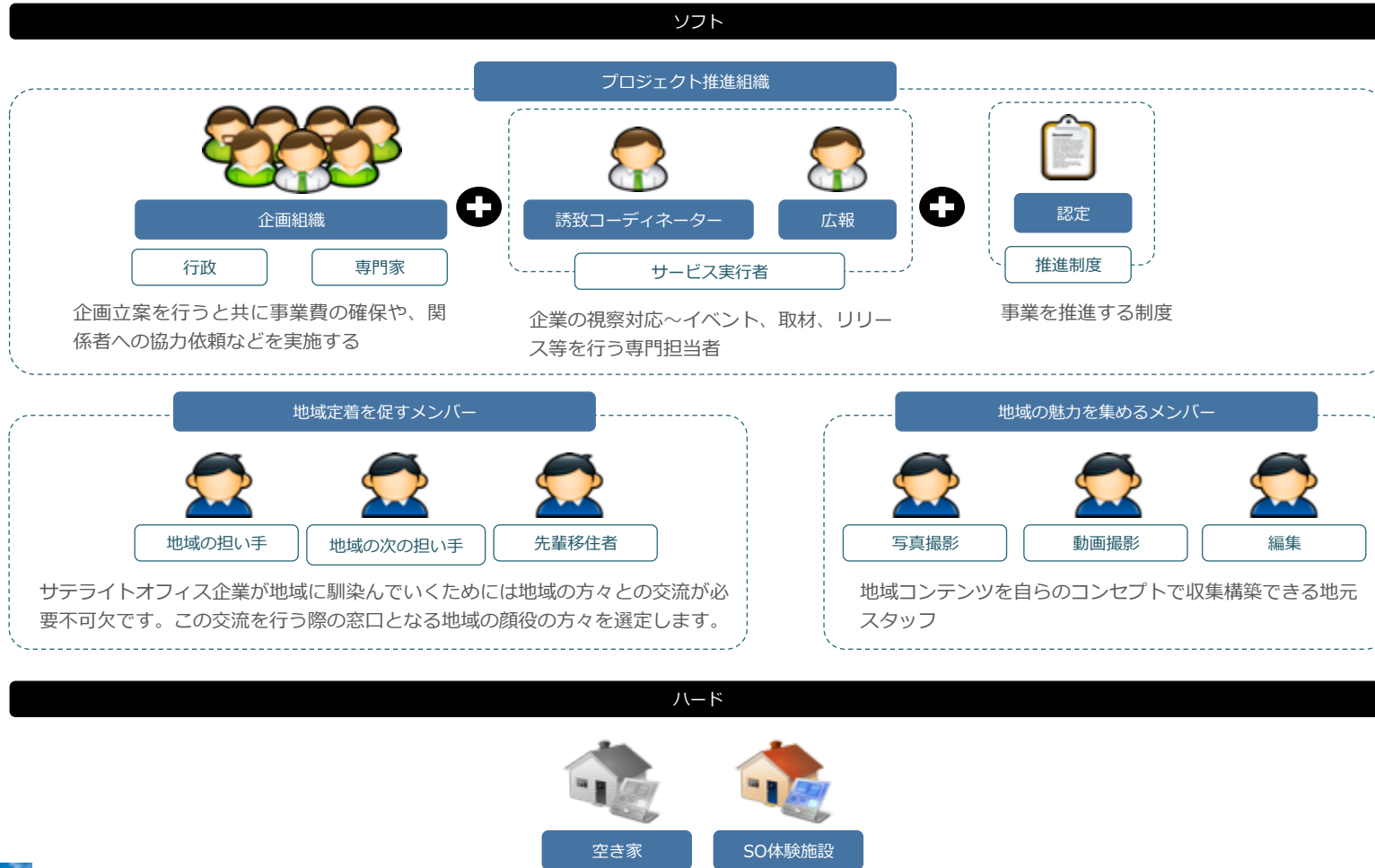
- ・ 2017年12月18日～2017年12月20日
- ・ 2018年1月15日～2018年1月16日
- ・ 2018年2月16日



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィス誘致に必要な体制



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3.サテライトオフィス誘致構想

道志村サテライトオフィス誘致体制

企画

行政

ふるさと創生推進室
誘致コンシェルジュ 別途採用予定

専門家

支援業者

サービス実行

視察対応

誘致コンシェルジュ 別途採用予定

移住支援

移住支援センター DO・SHIFT！

イベント

ふるさと創生推進室
誘致コンシェルジュ 別途採用予定

広報

誘致コンシェルジュ 別途採用予定

住居紹介

移住支援センター DO・SHIFT！

オフィス紹介

ふるさと創生推進室
一般社団法人山梨県宅地建物取引業協会
移住支援センター DO・SHIFT！

制度紹介

誘致コンシェルジュ 別途採用予定

仕事づくり

商工会・観光協会

地域定着支援

地域の担い手

地域活動・地域自治団体

地域の次の担い手

地域活動・地域自治団体

先輩移住者

移住支援センター DO・SHIFT！

地域ブランド構築推進

スチール

誘致コンシェルジュ 別途採用予定
支援業者

動画撮影

誘致コンシェルジュ 別途採用予定
支援業者

編集

誘致コンシェルジュ 別途採用予定
支援業者

ハード

体験施設

交流活動センター

宿泊

近隣の民宿

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

3.サテライトオフィス誘致構想

体験施設候補地_交流活動センター

候補物件

交流活動センター

選定基準

- ・ コワーキングスペースとして、様々な企業の方々が利用可能
- ・ 会議や打ち合わせなどが実施可能
- ・ インターネット環境がある（通信速度上り：20Mbps以上、下り：10Mbps以上、セキュリティ）
- ・ 講演やイベントができる環境
- ・ キッチンなどがある
- ・ 近隣地区で祭りや出事などの地域交流が期待できる

課題

- ・ 利用コンセプトの策定
- ・ レイアウト作成
- ・ ボイラーの修理
- ・ 全体的にクリーニングする必要がある
- ・ Wi-Fiを使えるようにする
- ・ 執務機器などの什器を納入する必要がある
- ・ スクリーンの配置



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

サテライトオフィス開設企業が開所式や各種イベントを実施することで、地域との交流を促進し、地域課題収集につながります。これを実施するために、「食品提供届の提出」や「野外イベントに備えた屋外テントの常備」などが必要となります。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



3. サテライトオフィス誘致構想

交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

サテライトオフィス利用社員への執務環境提供および地域での各種教育事業を実施することが可能です。そのためには、「オフィス家具などの設置」「スクリーンなどの常設」が必要となります。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



3. サテライトオフィス誘致構想

交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

サテライトオフィス社員が本社とのWEB会議実施が可能です。

そのためには、「WiFi利用可」および「WEB会議に必要な機材の常設」が必須となります。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

利用者および入居企業が増加していくとオフィス環境の増設および企業毎の仕切りなどが必要となります。また、フローリングの方が企業が利用しやすいかと思われます。そのため、「フローリングに改修」「最低6人利用が可能なデスクの常設」「企業毎のパーティション」の準備があることが望ましいです。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

道志村でのサテライトオフィスワークにより社員のリフレッシュおよび社内外の交流促進やアイデア創出の促進を図りたい企業が多いです。そこで、現状の部屋にサテライトオフィス利用者や地域住民の方々が気軽にリフレッシュできる場所（レクリエーションフロア）を常設することが望ましいです。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



交流活動センター_利用イメージ

現状



利用イメージ



利活用・準備

交流活動センターがサテライトオフィス利用者や地域住民との交流の拠点となっていくことが予想されます。そこで、現状のキッチンにはカウンターがあるので、道志村でしか味わえない産品やお酒をここで振る舞えるようにすることで、地域産品のPRおよび地域交流の促進が可能になります。

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



3.サテライトオフィス誘致構想

誘致候補地区

内容

S0誘致推進を行うモデル地域の選定、調査。

モデル地域

神地地区（社員の住居はグリーンロッジ跡地に建設予定の村営住宅や空き家バンク登録物件など）

選定理由

- ・ 体験施設がある
- ・ 小さな地区で始めるほうがサテライトオフィス進出企業 1 社あたりの村へ与える効果（祭り・出事など）が大きくなる
- ・ 一つの地区で成功モデルを作り他の地区へ横展開していく手法がこれまでサテライトオフィス誘致に成功している地区で見受けられるため
- ・ 地域交流が盛んである（祭り・出事など）



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

4. 今後の進め方



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

4.今後の進め方

今後の誘致事業の流れ

コンシェルジュ採用・育成

サテライトオフィス誘致コンシェルジュ採用・育成

交流活動センター改修

交流活動センターをお試し勤務ができる施設に改修

プロモーション

HP・動画・冊子を制作し、SNS・メディアを用いて情報発信

サテライトオフィスワーク体験

視察・お試し勤務に呼び込み、現地アテンド

サテライトオフィス開設支援

事業企画・物件準備・補助金申請支援

サテライトオフィス開設

開所式や近隣住民への説明

認定制度の策定

サテライトオフィス企業の認定制度の発行

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



コンシェルジュ採用・育成

必要性

サテライトオフィス誘致を成功に導くためには、サテライトオフィス誘致を専門的におこなう誘致コンシェルジュが必要です。行政職員や民間企業の場合は、異動や別業務との調整などが発生し、サテライトオフィス開設企業へのサービスが低下する可能性があります。そのため、サテライトオフィス誘致コンシェルジュを配置する必要があります。

また、サテライトオフィス誘致コンシェルジュに求められる能力は幅広く（地域馴染み力・経営者とのコミュニケーション能力、企画力、イベント運営力など）、これをすでにもった人材を採用することは難しいため育成が必要となります。

業務内容

- ・サテライトオフィス誘致に繋がるプロモーション活動
- ・サテライトオフィス誘致に関連する企業の視察・合宿の受け入れ対応
- ・その他サテライトオフィス誘致に必要な業務



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

4.今後の進め方

プロモーション

目的

サテライトオフィス誘致事業を始めるだけでは、1社もサテライトオフィスを誘致できません。

重要なのは、ターゲットとする企業に対し、どのようなサービスが受けられ、何のメリットがあるのかを伝えることが重要です。

実施内容

- ・ 企画・運営・サポート
- ・ PR冊子制作
- ・ PRサイト制作
- ・ PR動画制作
- ・ マッチングイベント2回参加



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィスワーク体験

目的

企業が道志村にすぐにオフィス開設するのは企業にとってリスクが高く現実的ではありません。そのため、交流活動センターをサテライトオフィスワークの体験施設としていただきますので、企業がそこで執務環境の確認や現地調査を通してビジネスチャンスを見つけるための「サテライトオフィスワーク体験」を実施する必要があります。

実施業務

- ・ 企業へ事前ニーズヒアリング
- ・ 企業の現地アテンド
- ・ 企業へ事後アプローチ



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィス開設支援

目的

企業が道志村に可能性を感じ、体験施設の利用登録や滞在型サテライトオフィス開設を実施する際に活用できる各種補助金（国・県・村）の紹介や、空き家の掘り起こし、物件の紹介、連携できる地域事業者やオフィス開設地区に挨拶を実施することが必要となります。

実施業務

- ・ 空き家の掘り起こし
- ・ 物件紹介
- ・ 補助金などの紹介
- ・ 企業と一緒に関係者へ挨拶回り



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

サテライトオフィス開設

目的

企業が開設時に、道志村の仲間入りを果たすためには、近隣住民への挨拶を兼ねた開所式と呼ばれる小さなイベントを開催することが効果的です。

また、山梨県ではサテライトオフィス開設は大きなニュースになると考えられますので、メディアを招待し、記事にすることで、情報が外部に拡散し、プロモーション効果および、地域の方々への説明にもなります。

実施業務

- ・開所式までの工程作成
- ・近隣住民へのアナウンス
- ・メディア招待・対応



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

認定制度の発行_道志村サテライトオフィス認定制度（案）

必要性

道志村として受け入れる企業の選定は、今後の目標達成のためにも必須です。選定基準が必要であり、この選定基準を作成し、基準を満たす企業に公的な認定を行うことで、認定された企業の困り込みと誘致企業の数値化および、基準を満たした企業へのサービスの向上が可能となります。

対象企業

次の各号に掲げる要件の2つ以上に適合すると認めるものを

『道志村サテライトオフィス認定企業』として、認定することができる。

- (1) 道志村に滞在型サテライトオフィスの開設を検討する企業
- (2) 道志村にて循環型サテライトオフィスを年10日以上実施している企業
- (3) 道志村で新規事業の実証実験を実施している、もしくは実施が決定している
- (4) 道志村内の事業者と新たな事業を実施している、もしくは実施が決定している

助成内容

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| (1) 交流活動センターの優先的利用 | (4) サテライトオフィスに関する取材の情報提供 |
| (2) 交流活動センターの滞在コスト低減 | (5) 山梨県のイベントの紹介 |
| (3) 地域の祭り、行事、イベント等の情報共有 | (6) 当該企業に関係する事業の紹介 |

道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想



4.今後の進め方

平成30年度サテライトオフィス誘致スケジュール（案）

NO	業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	プロポーザル												
2	委託業者契約												
3	交流活動センター改修（設計）												
4	交流活動センター改修（改修）												
5	お試しサテライトオフィス施設完成												
6	コンシェルジュ採用												
7	コンシェルジュ育成												
8	プロモーション（チラシ制作）												
9	プロモーション（動画制作）												
10	プロモーション（HP制作）												
11	プロモーション（マッチングイベント参加）												
12	サテライトオフィス体験ワーク												
13	サテライトオフィス開設支援												
14	サテライトオフィス開設												
15	認定制度策定												
16	報告業務												



道志村サテライトオフィス誘致構想

道志村の10年後のあるべき姿を実現するための誘致構想

IoT : Internet of Things (モノのインターネット) とは、インターネットにモノが接続されることを意味します。つまり、IoT : Internet of Things (モノのインターネット) とはモノとインターネット経由で通信することを意味します。

BCP : Business Continuity Planの略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるようにあらかじめ策定しておく行動計画のことです。

CSR : 収益を上げ配当を維持し、法令を遵守するだけでなく、人権に配慮した適正な雇用・労働条件、消費者への適切な対応、環境問題への配慮、地域社会への貢献を行うなど、企業が市民として果たすべき責任をいう。企業の社会的責任。

CSV : CSV (Creating Shared Value : 共有価値の創造) は、営利企業が社会ニーズ (社会課題の解決) に対応することで経済的価値と社会的価値をともに創造しようとするアプローチである。

コワーキング : 事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指す。一般的なオフィス環境とは異なり、コワーキングを行う人々は同一の団体には雇われていないことが多い。通常、在宅勤務を行う専門職従事者や起業家、フリーランス、出張が多い職に就く者など、比較的孤立した環境で働くことになる人が興味を持つことが多い。コワーキングは独立して働きつつも価値観を共有する参加者同士のグループ内で社交や懇親が図れる働き方であり、コスト削減や利便性といったメリットだけではなく、才能ある他の分野の人たちと刺激し合い、仕事上での相乗効果が期待できるという面も持つ。

ワークライフバランス : 「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す



道志村サテライトオフィス誘致構想